

# ゆうやけ子どもクラブ 放課後等デイサービスガイドライン評価結果分析

2025年1月22日

## 1. 集計結果

### ○回答数

- ・保護者による評価 15人（15人中）
- ・職員による評価 11人（11人中）

### ○実施期間

- ・2025年1月6日～17日

### ○評価の数値状況

- \*別紙を参照

## 2. 分析・討議

### ○保護者による評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「指導員の配置人数は適切であるか」の項目に、「本人がやりたいことをできる指導員の人数になっていて、ありがたい」という意見もある。「子ども10人に指導員2人」という、国の指導員配置基準では、子どもたちの実態に即さないため、財政運営は厳しくても、「10:6～7」の指導員配置をしている。そのことが、保護者からも評価されている。
- ・「個人情報の取り扱いに十分注意されているか」の項目に、「写真使用の可否について、いつも事前に問い合わせがある」という意見もある。個人情報の取り扱いに注意していることが評価されている。
- ・「子どもの育ちの状況を確認、保護者との面談もしながら、個別支援計画書が半年に1回は見直し、作成されているか」の項目に、「細かく面談してもらい、ありがたい」という意見もある。ていねいに面談していることが評価されている。
- ・「子どもに応じた活動が作り出されるとともに、屋内や屋外の活動、長期休業中の活動などが工夫されているか」の項目に、「夏休み・冬休みなどの早期保育（朝の延長支援）で本当に助かっている」という意見もある。夏休みなど長期休業中の活動で、朝の延長支援を実施していることが評価されている。
- ・「子どもは活動を楽しみにしているか」の項目に、「とても楽しみにしている」「休みの日にも行きたがる」「休日も、指導員の名前を口に出すほど、楽しんでいる」という意見もある。子どもの願いに即しながらも、子どもと指導員が共に創造する活動が評価されている。
- ・「活動に満足しているか」の項目に、「事業所内だけではなく、いろいろなところに出かけてくれている」という意見もある。屋内だけではなく屋外の活動も行なっていることが評価されている。
- ・「保護者との面談を行なうなどして、子どもについての状況や意見などを聞き取られているか」の項目に、「困っているとき、相談に乗ってくれている」という意見もある。相談に随時応じていることが評価されている。

- ・「保護者に子どもや活動の状況を報告する機会がつくられているか」の項目に、「毎日、迎えのとき様子を教えてくれる」「毎日の様子を書いたものを確認できる」という意見もある。活動中の子どもの様子をていねいに伝えていることが評価されている。
- ・「苦情などの意見を寄せたときは、懇切に対応され、改善策をすみやかに伝えられているか」の項目に、「迎え時の頓服薬服用など、要望を聞いてもらい、助かっている」という意見もある。保護者の要望にていねいに応じていることが評価されている。
- ・「親子行事、きょうだいの会など、保護者や家族が交流できる機会が工夫されているか」の項目に、「親子行事に楽しく参加している」という意見もある。保護者の交流もできる行事を行なっていることが評価されている。

#### ○職員による自己評価

- ・全体的に「はい」が多数になっている。
- ・「子どものことがわからないと感じたとき、独りよがりの判断をせず、ほかの職員に意見を聞くなどしているか」の項目に、「今後、取り組んでいきたい」という意見もある。1人ひとりの子どもを理解することは簡単ではないため、自省的に考えることは大事だと思われる。研修や事例検討などをつうじて、子どもの事実を出し合って、それらの事実のあいだにある意味を考察することをいっそう大事にしていきたい。
- ・「学校で頑張ってきたあとの活動という、生活の流れを意識して、子どもを理解しようとしているか」の項目に、「今後、気に留めたい」という意見もある。その場の子どもの姿だけで考えるのではなくて、子どもの1日の生活の流れで考えることも必要であるため、このことに留意することは大事だと思われる。必要に応じて、保護者とも連絡を取りながら、子どもの生活の流れをつかんでいきたい。
- ・「保護者の言葉の内側に込められた思いや願いを汲み取ろうとして、懇切に対応しているか」の項目に、「もう少し汲み取っていきたい」という意見もある。保護者の言葉の内側に込められた思いを汲み取ろうとすることは大事である。若い非常勤職員の場合、保護者と会話することに恥ずかしさや躊躇もあるかもしれないため、子どものどういふところをどう保護者に話したらいいかを伝えていきたい。

### 3. 改善目標

#### ○保護者による評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・財政的な問題はありつつも、必要な人数の指導員の配置に引き続き努めたい。そのことで、子どもにとって楽しく、子どもの育ちを豊かにする活動を創り出したい。保護者とも、その意味を共有するように引き続き努めたい。
- ・定例の個別面談のほか、申し出に応じた、随意的な相談も引き続きを行なっていききたい。また日常的に、子どもの変化やその意味を伝えるとともに、保護者の思いも聞き取りながら、親しく会話することに引き続き留意したい。

#### ○職員による自己評価

- ・ほとんどが高い評価となっている。
- ・子ども1人ひとりを深く理解することが大事だと考える。問題にも見える行動の内側に、その子の本当に願いが込められていることがある。複数の人が、さまざまな角度

から、子どもの事実を出し合って、その意味を集団的に検討するための、研修や事例検討を引き続き行なっていきたい。

#### 4. 公表方法

- 保護者・職員への文書の配布（2025年1月31日より）
- ホームページへの掲載（2025年1月31日より）